

“届けよう、服のチカラ” プロジェクト

私たちは本当に服を必要としている難民の子どもたちに
1着でも多くの服を届けたいと思っています。ぜひご協力を
よろしくお願いいたします。

注意事項

1. サイズはベビー服から160cm までの子ども服のみです
(大人Sサイズは対象外です)
2. 季節は問いません
3. 直接肌に触れる下着や靴下、帽子、靴などは衛生面の観点から回収しておりません
4. マフラー、ベルトなどの小物類、浴衣、甚平は回収しておりません
5. 迷彩、武器、ドクロ、血液の柄のものは難民の子どもたちのつらい経験を思い出させる
可能性があるため、避けてください
6. 汚れた服は回収しておりません。必要としている人に再度着ていただくことを目的として
いるので、着られる状態のものを必ず洗濯した状態にしてください
7. ユニフォームや体操着は綺麗に洗濯していただいた子どもの服であれば回収可能です
(ゼッケン等大きく名前が記されている場合は可能であれば外してください)

★回収期間

10月6日(火)～10月23日(金)

★回収場所

高梁市社会福祉協議会

11月5日(木)までの平日は
高梁城南高校でも回収しています
(土・日・祝日は回収していません)



主催

高梁城南高校 環境科学科 家庭クラブ

電話番号 (0866-22-2237)

難民について知ろう

2025年末、紛争や迫害などによって、
約1億1,780万人が故郷を追われています。
難民の中には多くの子どもたちもいます。
避難生活では、衣服や食料、住む場所などが必要です。

UNHCRって何？

UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）は、
世界の難民や避難を余儀なくされた人々を守り、
生活に必要な支援を行っている国連の機関です。
住まいや食料、衣類、医療などの支援を行っています。

”届けよう服のチカラ”プロジェクトとは

学校などで集めた子ども服を、
難民の子どもたちへ届ける活動です。
服が届くまで

- ① 服を集める
- ② 仕分け
- ③ UNHCRを通じて届ける
- ④ 難民の子どもたちへ 

2025年度は、全国769校・約7万人が参加し、
約97万着の服が集まりました。

私たちにできること

着なくなった子ども服を届けることも、
難民の子どもたちを支える力になります。
「知る」ことから、支援を始めよう。

 服のチカラで、笑顔を届けよう！